

令和4年度裾野市地域公共交通活性化協議会（第2回）議事録

1 開催日時

令和4年9月21日（木） 15時00分～17時00分

2 開催場所

裾野市役所4階401会議室

3 出席者

別添資料No.1のとおり

4 内容

(1) 報告事項

①裾野市内循環線の利用状況（資料No.3）

- ・4月～7月までの乗降者データについて報告
- ・延べ利用者数は毎月1,000人前後、1日平均48人、1日平均16人ほど
- ・青葉台ルートでは、利用者が次第に増加傾向
- ・「ベルシティ」「マックスバリュ裾野店」付近のバス停で利用者が増加傾向
→買い物目的でのバス利用が多いと推測
- ・時間帯が遅くなると利用者が少なくなる傾向

②裾野市公共交通に関する市民アンケート（資料No.4）（追加配布資料3）

- ・60.4%の回答率（604/1,000人）
- ・バスを利用しない人の割合が84.6%
- ・バスの満足度について、約半数が「分からない」と回答
→実際に利用していないので満足か不満か聞かれても「分からない」ということか
- ・移動手段に関するニーズは世代ごとで異なる

(2) 議事：裾野市地域公共交通計画（素案）（資料No.5）

- ・旧形成計画（地域公共交通網形成計画）の基本的な考え方や方針等を踏襲しつつ、社会状況の変化とも加味して事業を推進すること旨を計画に記載。
- ・市議会議長から提出された提言書（追加配布資料1）の内容や、モビリティ勉強会を始めとする移動実態の把握についての研究（追加配布資料2）も計画に盛り込む。
- ・課題を7つに整理し、これらを克服するための3つの方針、8つの目標、14の実施事業を策定。

(3) 今後のスケジュール（資料No.6）

10月27日（木）10時～	第3回活性化協議会：パブコメ案について協議
11月14日（月）～12月14日（水）	パブコメ
令和5年1月23日（月）14時～	第4回活性化協議会：公共交通計画最終版の審議
令和5年2月上旬	計画の決定、国への送付

5 質疑応答等

(1) 報告事項：裾野市公共交通に関する市民アンケート

○国交省静岡運輸支局 風岡専門官

- ・ 市内循環バス収支率はどのような状況？

○事務局 長田主幹

- ・ 収支率データが手元にない。富士急に回答していただきたい

○富士急シティバス 川井所長

- ・ 概算であるが当初の見込み通りの収支率で推移。乗車人数が想定よりも伸びている印象

○国交省静岡運輸支局 風岡専門官

- ・ サービス継続事業なので、情報共有を密に市内循環バス運行に取り組んでほしい。

○裾野市老人クラブ連合 鎌野会長

- ・ アンケート回答だけでなく「質問」も同時に見える資料でないと分かりにくい。

○事務局 長田主幹

- ・ アンケート結果の体裁について検討する。

○裾野市富岡地区 八木代表

- ・ アンケート回答率 60.4%についてどう評価する？

○事務局 長田主幹

- ・ 市民意識調査での回答率は 55%程度なので、平均よりもやや高いという印象。

(2) 議事：裾野市地域公共交通計画（素案）

○裾野市富岡地区 八木代表

- ・ 市議会議員からの提言書の内容も気になっていた。次回までに熟読して意見を考えたい。
- ・ 年号を西暦にするか和暦にするか統一した方が良い。

○事務局 長田主幹

- ・ 年号の表記の統一について対応する。

○国交省静岡運輸支局 風岡専門官

- ・ P.10 の路線バス運行状況の表について、国補助欄を「地域幹線圏補助」なのか「特定地域への補助」なのか明確にしてほしい。国・県・市による負担欄の補助路線の記載内容を明確にした方が良い。

○事務局 長田主幹

- ・ 御意見のとおり対応する。

○裾野市商工会 渡邊会長

- ・ P.34～P.35 記載の「乗継ポイント」が支所となっているが、どのような活用方法を考えているのか。支所周辺は住宅が密集しているので実際に乗継ポイントとして機能し得るのか。

○事務局 長田主幹

- ・ 支所はピンポイントでバス停となっていないところがあるが、支所を待合スペース的な機能として活用することを想定している。

○裾野市商工会 渡邊会長

- 「支所」に乗継ポイントを設置するのは時代の流れにそぐわないのではないか。かつて「新駅設置」の話が出たが、検討されていた深良グラウンド付近に乗継ポイントを新設しても良いのでは。

○鈴木会長

- 「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」では、支所を地域拠点とする旨が記載されている。今回の公共交通計画は上位計画と前回の網計画との整合性を鑑みて作成しているので、時代にそぐわないと理解しつつもあくまで支所に乗継ポイントという形で記載している。

○裾野市深良地区区長会 西島会長

- スーパーや病院、飲食店、観光施設といった箇所と公共交通との関係性について公共交通計画案に記載があるが、その意図は？

○事務局 長田主幹

- 前回の網計画で盛り込まれていたが実施できなかった課題。大がかりなものになるとなかなか一歩が踏み出せないといったことがあるので、商工会や観光協会等とコミュニケーションをとってスモールスタートでもまずは企画を検討したい。

○裾野市深良地区区長会 西島会長

- そのための公共交通マップを作らないと難しいと思う。拠点をどこに設置するかでマップの中身が変わってくる。ただバス・タクシーを走らせればそれで良いという訳ではない。観光客と地元住民をつなぐ媒体にも公共交通はなり得るのでぜひ検討してほしい。

○鈴木会長

- 検討事項には記載されていたが評価はいまひとつであったため、もう少し検討する必要あるということで今回の計画に盛り込んだ。実施主体は裾野市等あるが、観光協会や商工会等事業者と連携しながら取り組みたい。また市議会議員からの提言書で、「市内観光・商工事業者と連携して公共交通を活用してみては」という意見があったので、この点も鑑みながら検討したい。

○裾野市西地区区長会 小松会長

- 課題の整理について、7つの課題がどの目標と対応しているのか

○事務局 長田主幹

- 課題1～4は「方針1」、課題5は「方針2」、課題6～7は「方針3」に対応している。課題に対する方針が上手く見せられるように検討したい。

○裾野市西地区区長会 小松会長

- 経験や感覚ではなくデータで可視化して施策を検討する取組みは良いと感じた

○事務局 長田主幹

- 行政だけではデータの可視化は難しいので、市内企業や交通事業者の力を借りながら取り組んでいる。このような取組みも広く発信できればと考えている。

○株式会社三ツ輪交通自動車 中川常務取締役

- 市民としては公共交通が改善されたという実感が湧かない。委員としてもPDCAサイクルが上手く回せているのか理解できていないと意味がないと思う。各事業目標に対し具

体的に何をするのか協議会で提案し、市民目線で意見交換できればと思う。5年かけて取り組む事業ではないものもあると思うので、できることから着手し始めて毎年評価できるためのタスクを表にして管理できれば良いのでは。

○事務局 長田主幹

- 年度の具体的事業をどこまで計画に記載するかは要検討だが、事業実施に対する具体的な考えは持ってないといけないと認識している。

○株式会社三ツ輪交通自動車 中川常務取締役

- 全取組の進捗状況を細かく見ることはできないと思うので、活性化協議会で進捗報告していただければと思う。

○鈴木会長

- 事業評価する際は、中川さんのような考えは必要だと感じる。

○国交省静岡運輸支局 風岡専門官

- P.45にPCDAサイクルの記載があるが、毎年の大まかな評価スケジュールが記載されているとよりイメージしやすいし、毎年評価できると思う。
- P.44の数値指標について、バスの全体利用者数は集計可能なうえ、一番評価が分かりやすい数値だと思うので目標値に組み込んでも良いと思う。反対に、バス・タクシー運転者の充足率は出しにくいと思う。特にバスは他の自治体も走っており、高速バスもあるので複雑。

○事務局 長田主幹

- バス・タクシー運転者の充足率について意見を聞いたかった。バスの人員不足を充足させることを目的としたときにどのような指標が適切なのか教えて欲しい。

○裾野市深良地区区長会 西島会長

- 個人的にはその目標数値はなくても良いと思う。

○事務局 長田主幹

- 「バスの運転手が不足しているので路線を減らす」ということなら、運転手を充足させれば路線を維持できるのではと考えているが。

○裾野市深良地区区長会 西島会長

- それは違うと思う。「貸切り」と「路線」と「高速」があるので、運転手充足で路線バスの維持を図るのは不可能だと思う。インバウンド観光客がこれから入ってくると日本全体がバス運転手不足すると思う。

○国交省静岡運輸支局 風岡専門官

- 正直、一自治体だけの解決では難しい問題。人材確保対策として色々やっている最中である。裾野市として目標値を定めるのは難しいと思う。タクシーなら可能だと思うが。

○事務局 長田主幹

- 本指標については再検討する。

○県地域交通課 長田氏

- P.34に記載のある「機能分類」に関するワードがこのページ以降計画に盛り込まれていない。何のために記載したのか気になる。

- P.41 に記載の事業 12 について、5 年間検討で終わってしまうのであれば記載しなくても良いのではと感じる。タスクをしっかりと定めてみてはいかがか。

○事務局 長田主幹

- 御意見を踏まえ検討する。